

自己評価結果公表シート(令和3年度)

学校法人 服部天神宮学園 服部幼稚園

1 本園の教育目標

「感謝の心とやる気を育てる」ことを教育の目標として、次の幼児像「敬神感謝の心を持ったあたたかい子ども・意欲を持って学習や遊びに参加する子ども・友だちと仲良くしてよい習慣を身につけていく子ども・まわりのことがらに関心をもち表現を豊かにする子ども」を掲げ、のびのびとした保育に取り組む。

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・新型コロナウイルス感染状況に常に対応し、感染予防対策を徹底し、子どもの育ちが豊かになるように、教職員で話し合い、連携を取り、実践する。
- ・コロナ禍での教職員の学びの機会を保障し、研修(オンライン等)に参加する。また、年間を通して各クラスの研究保育を行い、子どもの特性を共通理解できる機会や保育の充実に努める。
- ・毎月子どもの姿や保育の様子を動画配信する。保護者が、より保育内容を理解できる機会を充実させる。

3 評価項目と取組状況

評価項目	取組み状況
安全衛生管理への更なる強化	新型コロナウイルス感染症対策を教職員が徹底して行い、保護者にも行事等の感染症対策にご理解やご協力を頂き、感染を最小限に抑えることができた。
教職員間の連携と保育内容の充実	新型コロナウイルス感染症の流行も波がある中で、常に感染対策を徹底し、子どもの育ちが豊かになるように、教職員で昨年度の経験を踏まえて、話し合い、連携をとりながら保育内容の充実に努めた。
ICTシステム活用の更なる充実	ICTシステムの活用によって、毎月、子どもの姿や保育の様子をクラス担任が動画配信することで、保護者に子どもの発達を理解して頂く機会を設けることができた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に縮小した行事を動画配信することができた。昨年度から更にICTシステムを活用し保護者の方との連絡や教職員の業務効率化を図ることができた。
教職員の資質向上への取組み	コロナ禍で対面による研修は少なかったが、各々が課題とするオンラインでの研修に参加し、専門性を深め、課題に取り組むことができた。年間を通して各クラスの研究保育を実施し、個々の子どもの特性を共通理解し、保育の充実に努めることができた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルス感染症が子どもに感染する事例が多くなる中、昨年度の経験を踏まえて、子どもたちの育ちが豊かになるように、教職員で話し合い、保育が充実するように努めた。
ICTを活用して、できるだけ子どもの姿や保育の様子を動画配信することによって、保護者が園の教育を理解できる機会を提供できた。
各々が課題とする オンライン研修を受講し、専門性を深めることができた。また、昨年度は実施できなかった各クラスの研究保育を行い、取り組むべき課題を話し合い、今後の保育に活かせるように努めることができた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全衛生管理への更なる強化	新型コロナウイルス感染症の流行の長期化を見据えて、感染予防対策を更に徹底しながら、子どもの育ちが豊かになるように保育内容の充実に努める。また、自然災害に対する備えや訓練を強化させる。
小学校との連携と地域への開放	コロナ渦で小学校と交流する機会が少なくなる中で、様々な手段で連携を図るよう努める。また0歳児から2歳児の未就園児親子が参加できるプログラムを考え、子育てを支援する機会を充実させる。
教職員間の連携と環境構成の構築	教職員間で子どもの発達の共通理解を深め、連携することによって、子どもたちが主体的に活動できるように環境構成の構築を図る。

6 学校関係者評価

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、教職員が感染予防対策を徹底し、昨年度の経験を踏まえて行事等をできる限り実施している事が評価される。また、ICTを活用して保育内容を発信し、教職員の業務を効率化していることも評価される。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。